

9/18-19 ユニ石狩岳

7/3-4 8/11-12 9/14  
トムラウシ山

8/14-15 ニペソツ山  
幌加温泉コース

7/23-25 大雪山縦走線  
(トムラウシ山～美瑛富士)

6/25 トムラウシ山  
(温泉口～温泉分岐)

9/11 十勝岳新得コース

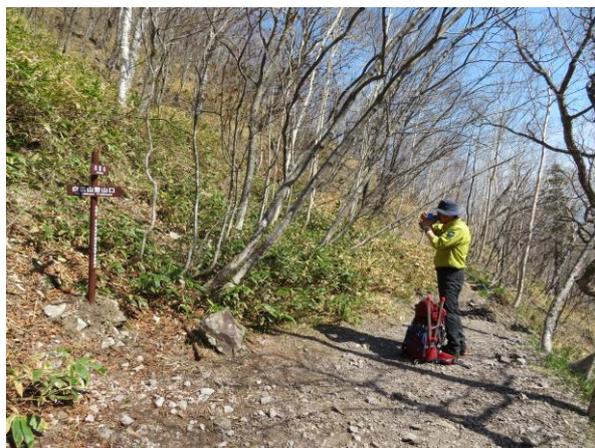
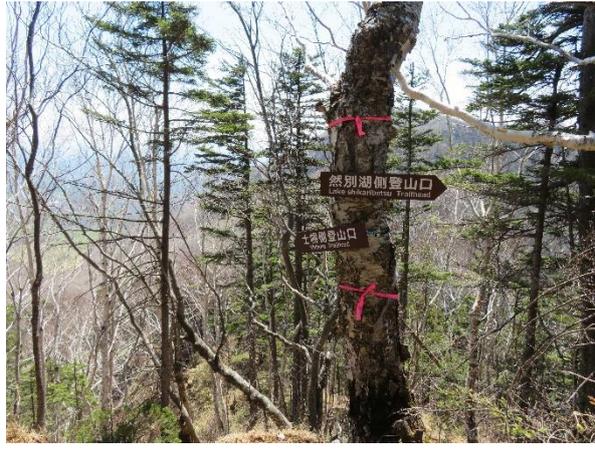
6/12 7/1  
東ヌプカウシヌプリ  
南ペトウトル山 駒止湖  
登山道整備  
(然別自然休養林保護管理協議会)

5/28 天望山周回

5/14 白雲山士幌コース



2019年5月14日 白雲山士幌コース巡視

	
<p>通行止め道路と登山道の分岐標識</p>	<p>標高 920m くらいの倒木 (前年度と変わらず)</p>
	
<p>岩石山分岐標識</p>	<p>岩石山山頂</p>
	
<p>然別湖側登山口分岐標識</p>	<p>昨年度ササ刈り実施区域 (山頂付近)</p>



白雲山山頂



白雲山山頂標識



然別第一発電所水路

然別湖畔温泉  
湖畔トンネル

上士幌町

天望山  
1173

新白雲橋

白雲山  
1186

西ヌブカウシヌブリ  
791251

駒止湖  
西小沼

千畳崩

白樺峠

東ヌブカウシヌブリ  
1252

19.05.14  
倒木・カガリ木アリ  
(H30と変わらず)

19.05.14  
白雲山土幌コース  
観 天気:快晴

農協直営牧場

扇ヶ原

農協

2019年5月28日(火) 天望山周回線巡視



①倒木から登山道に突き出た枝を除去



②尾根で立ち枯れ木が傾き障害に。右に巻き道



③白雲山山頂



④白雲山と天望山の鞍部



⑤笹の刈り払い後に茎だけが徒長



⑥剪定処理後



⑦天望山山頂



⑧天望山～東雲湖、標高 1110m の倒木またぎ



⑨天望山～東雲湖、標高 1080m の倒木



⑩除去後



⑪天望山～東雲湖、標高 900m の倒木



⑫除去後



⑬登山口～天望山～東雲湖の分岐(天望山方面)



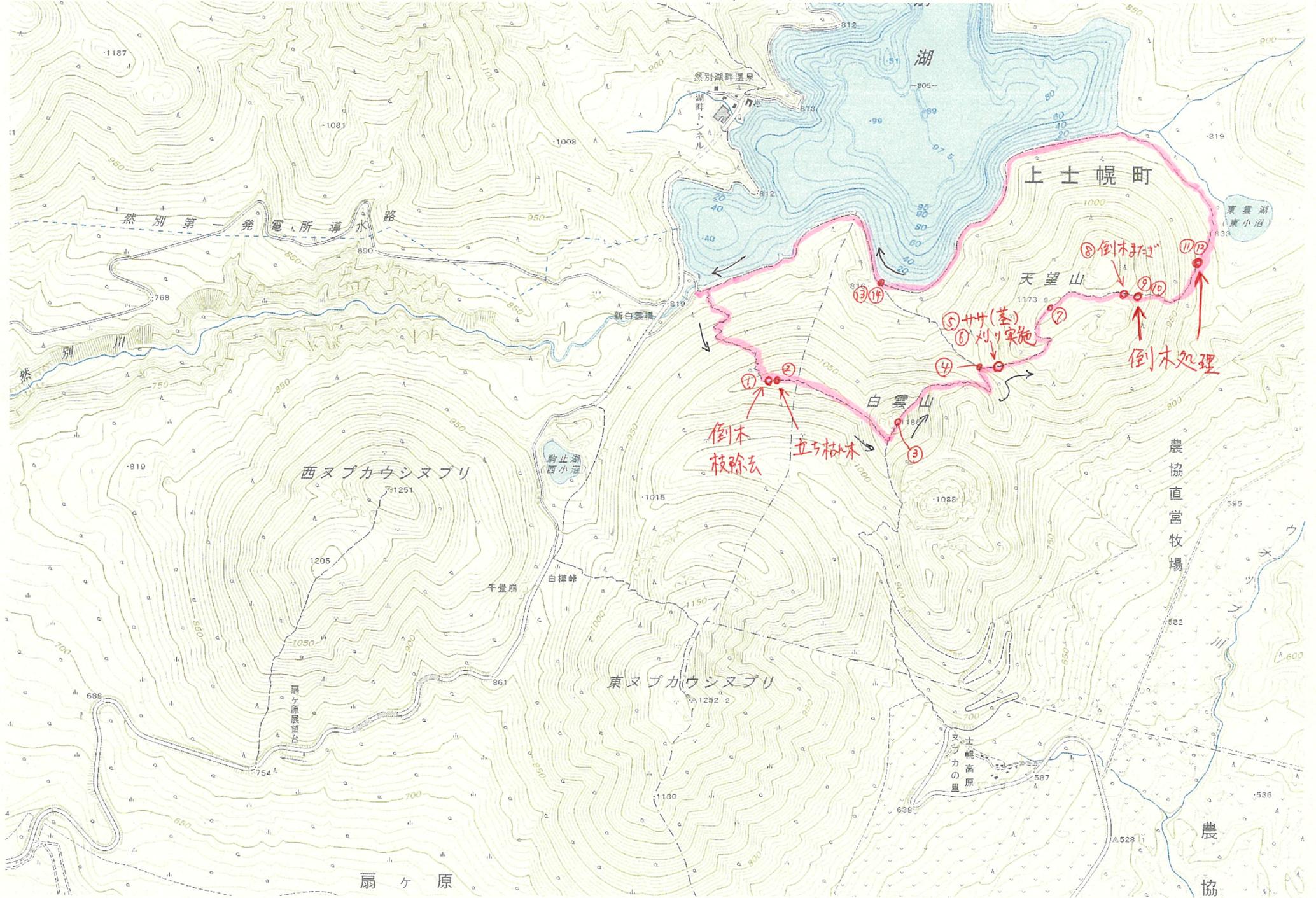
⑭登山口～天望山～東雲湖の分岐(東雲湖方面)

19.05.28 (水) 天望山周回線巡視

天気: くもり

10:40~16:50

上士幌自然保護官事務所



2019年6月25日 トムラウシ山温泉登山口～温泉コース分岐巡視



土が流出しやや大きな段差に



同左



小径の倒木



除去後



カバの倒木と蔓植物の被さり



除去後



標識にクマと考えられる爪痕



同左



令和元年7月3日（水）～4日（木） トムラウシ山短縮登山口～トムラウシ山 巡視記録



①好天が続けば歩きやすいカムイ天上



②前トム平の上の岩場にいくつもの石積み



③繰り返しトイレ痕が発見された場所



④植生が入り込むヤシネット



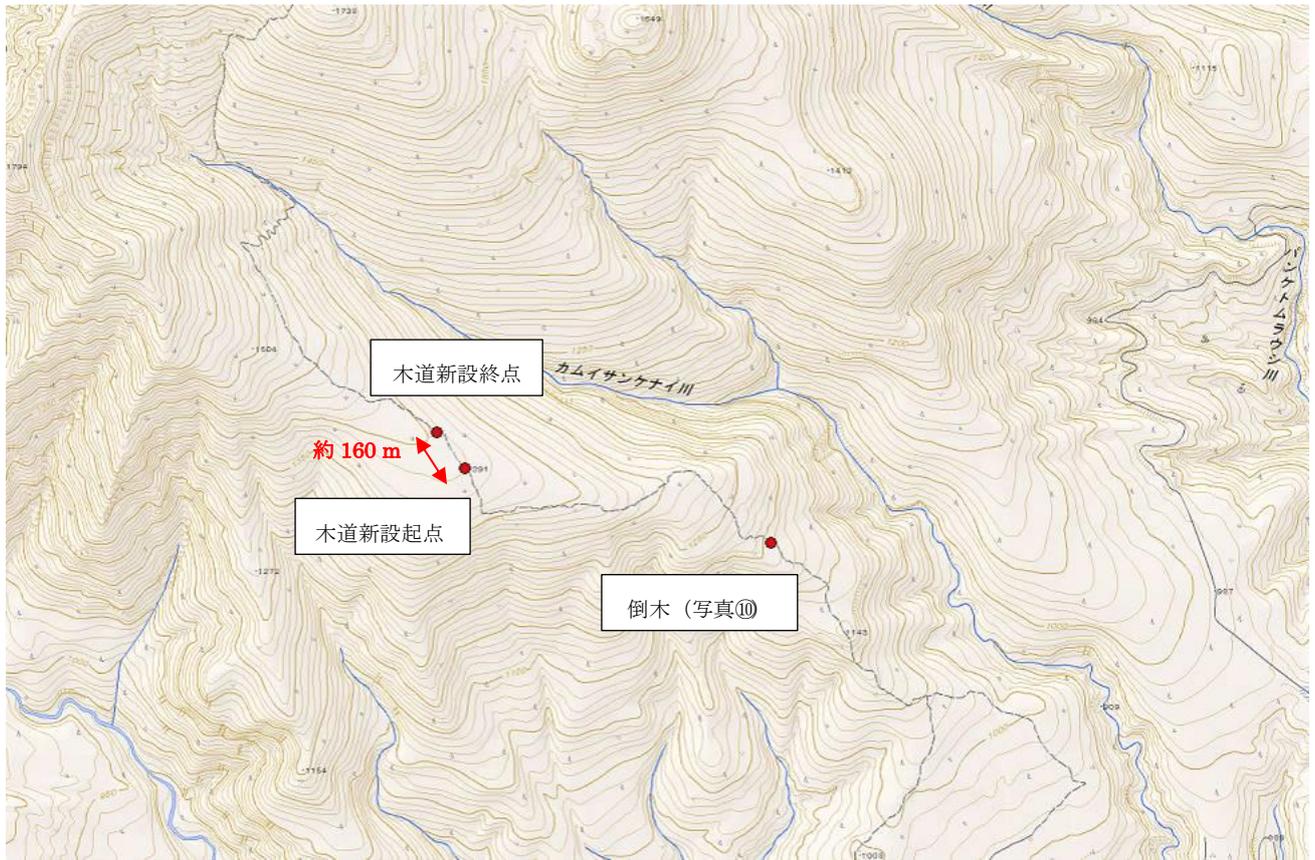
⑤植生が入り込むヤシロール



⑥利用者数調査のための自動カメラを設置

	
<p>⑦古い道標の搬出</p>	<p>⑧カムイ天上付近の刈り払い</p>
	
<p>⑨カムイ天上付近の刈り払い</p>	<p>⑩標高 1,200m 付近の倒木 (後日、新得山友会により除去済み)</p>

- カムイ天上付近の泥濘区間は、前日の7月2日に北十勝地方で10ミリを超える降水が観測されたものの、山中は少なかったのか比較的歩きやすい状態でした(写真①)。また、この区間では大雪山・山守隊により7月20日(土)、21日(日)、「たまには山に恩返し in トムラウシ」イベントが開催され、69基の木道が整備されました。整備の起点と終点を地図に示します。
- 野営指定地周辺のトイレ痕調査では痕跡は認められませんでした。前年まで繰り返しトイレ痕が見られた場所では、前年から引き続き裸地や植物の枯死、土壌の変色が見られます(写真③)。
- 平成29年に施したヤシネットやヤシロールには既存の植生が枝葉を延ばし入り込んでいる様子がうかがえます(写真④⑤)。
- 7月3日(水)、南沼野営指定地の幕営数は4張(上士幌自然保護官事務所1張を含む)でした。7月4日(木)早朝、トムラウシ山頂へ向かう登山道脇の南沼野営指定地を見下ろす場所に、利用者数調査のための自動撮影カメラを設置しました(写真⑥)。9月中旬まで自動撮影し、テント数から利用者数を推計します。
- 北沼分岐に、錆びて盤面の判読できない標識が寝かされていたので搬出しました(写真⑦)。
- 帰路、カムイ天上付近までササの刈り払いが行われていることを確認しました(写真⑧⑨)。



令和元年7月23日(火)～25日(木) トムラウシ山短縮登山口～美瑛富士登山口 巡視記録



①携帯トイレに関するアンケート調査



②7月14日(日)が32張



③青さが目立つビニールゴミ



④ビニールゴミの処理後



⑤南沼～三川台にあるぬかるみ



⑥野営指定地ではない三川台近くの広場



⑦三川台分岐標識の整備



⑧東川 RO によるパウチ整備



⑨三川台からツリガネ山方面のササ被り



⑩登山道の崩壊箇所



⑪双子池付近のササ被り



⑫双子池野営指定地のトイレ痕

- 平日における携帯トイレに関するアンケート調査を行いました。(写真①)
- 南沼野営指定地の利用者数調査のために設置した自動カメラから撮影データを回収しました。7月23日(火)現在、7月14日(日)が32張で最多です。霧による欠測が3日ありました。(写真②)
- 以前から南沼～三川台間、南沼を過ぎてすぐの岩場に青さが目立つビニールゴミが埋まっていたた

め、可能な限り拾い集めました。(写真③④)

- 南沼～三川台間にぬかるみが一箇所だけあります。ヤシ土のうなどで整備が可能か、必要性も含め検討したほうがよいと感じます。(写真⑥)
- 三川台分岐の標識に白文字ペイント入れを行いました。ただし、同日午後には、逆ルートで巡視を行った東川自然保護官事務所によりパウチによる整備が行われました(大雪山縦走線の執行者である北海道庁(上川総合振興局)許可済み)。(写真⑦⑧)
- 三川台からツリガネ山、カブト岩から双子池野営指定地などの区間にササ被りの旺盛な区間があります。足元がよく見えず、段差やハイマツの根によって転倒する可能性があります。注意が必要です。(写真⑨⑩)
- ツリガネ山からコスマヌプリ方面へ進むとすぐ、登山道が数メートルにわたり崩壊している箇所があります。(写真⑩)
- 双子池野営指定地を出発直前に真新しいトイレ痕(大)を見つけました。可能な限り回収し石を被せました。(写真⑫)



